

第4章 施策分野と個別施策

第4章 施策分野と個別施策

基本方針を実現するための、施策の方向性として、個別施策を設定します。また、各個別施策を性質別に分類化した集合体として、施策分野を掲げます。また、本計画期間内で特に重点的に取り組む施策を「重点施策」として、本計画から新たに取り組む施策を「新規取組」としてまとめました。

○施策分野と個別施策について

【施策凡例】

★：重点施策 / ○：新規取組

【着手時期】 着手時期を短期・中期・長期に分けて示します。

短期・・・すでに着手もしくは1年以内に着手する施策

中期・・・2～3年以内に着手する施策

長期・・・4～5年以内に着手する施策

I 地域資源の活用

本市特有の自然や歴史、文化の背景やストーリー性を考慮した資源の魅力の解説・紹介を行うとともに、関係団体との連携を図り、来訪者のみならず市民が地域の魅力を再発見できるまちづくりを推進します。

また、本市の貴重な資源が失われることのないよう、自然環境や歴史的建造物を保全するとともに、市民協働により文化財や郷土芸能等の地域文化の継承を推進することで、観光誘客や特色あるまちづくりに活用します。

①自然の活用

9つの海水浴場やジオサイト、里山等、海も山も満喫することができる豊かな自然が本市の大きな魅力です。年間を通して四季折々に異なる本市の魅力を満喫してもらえるよう、自然の活用に取り組み、誘客の増加を図ります。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 四季折々楽しめる海づくり	四季折々の海を楽しむ体験プログラムの拡充		■	
	海辺で楽しめる休憩施設やアウトドア施設等の設置		■	
	サーフィンやライフセービング等の大会への支援や新たな大会の誘致	■		
	条例改正等による健全な海水浴場の開発		■	
★ ジオサイトの活用	地域と連携した龍宮窟の活用方法の検討		■	
	ジオガイドと連携したジオツーリズムの充実		■	
	伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携した誘客の促進	■		
★ 山の恵みの活用	○ 農村体験のできるグリーンツーリズムの推進	■		
	○ 山間部を活用したアウトドア施設誘致やアクティビティの検討		■	
	○ 伊豆縦貫自動車道の開通に向けた里山エリア活用の検討	■		
★ 花の名所づくり	アメリカジャスミンやしだれ桃等の花木を活用した名所づくり	■		
	ハンギングバスケットを活用した街中景観の向上		■	
	あじさい祭等の花を活用したイベントの充実	■		



ジオサイトのひとつである「龍宮窟」



「シーモン」によるマリンスポーツ体験

②歴史・文化の活用

開国の歴史において重要な役割を果たした背景をもつ本市には、歴史的建造物や当時を偲ばせる街並みが今も残っています。歴史の重みを感じさせる景観を維持・活用する中で、市民や観光客がその歴史を感じ、思いを馳せながら、まち歩きができるような仕組み作りを目指します。

また、下田太鼓祭り等の祭礼行事や、地場産品を生かした伝統産業等を多くの市民や観光客に周知できるよう、有形・無形を問わないプログラムづくりに取り組みます。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 歴史的景観の活用・ 保全	○ 下田まち遺産をめぐるモデルコースの開発		■	
	○ VRやAR等の最新技術を活用した歴史の体験プログラムの開発		■	
	○ まち歩きで歴史的景観を楽しめる周遊マップアプリの開発		■	
	歴史的風致形成建造物の維持・修繕に対する助成	■		
開国の歴史を背景と したイベントの推進	黒船祭に合わせて開催されるイベントの磨き上げ	■		
	了仙寺等の史跡等を活用したイベントの検討		■	
★ 地域の芸術文化の活用	○ 下田芸者等の芸術文化を体験できるイベントの充実		■	
	蓮杖プロジェクトや下田写真部等の写真を通じた文化交流の充実		■	
	○ 下田太鼓等の伝統芸能を活かしたおもてなしの強化	■		
食を活用した観光 プログラムの開発	地場産品を活用したブランドの開発		■	
	大特産市等の農漁業者と連携した観光コンテンツの開発	■		
	市内飲食事業者等と連携した新しいメニューの開発		■	



「黒船祭」における公式パレード



「下田芸者」体験



伝統ある催事「下田太鼓祭り」

③その他の資源の活用

他の観光地との差別化を図っていく上でも、切れ目のない観光プログラムの開発は重要な取組となります。訪れた時間や天候に左右されず、いつ訪れても本市を楽しめる新たな観光資源を掘り起こす取組を実施し、宿泊や滞在型観光の強化を図るとともに、来訪者・市民ともに新たな魅力を再発見できるまちづくりを推進します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
雨の観光プログラムの開発	30 カラーズの雨のモデルコースの充実	■		
	道の駅等の屋内観光施設の機能強化		■	
	○ デザイン性のある傘の作成及びシェアリングサービス導入の検討		■	
★ 夜の観光プログラムの開発	○ 竹灯りを活用した観光プランの作成	■		
	○ ペリーロードを中心とした夜のまち歩き観光プランの作成	■		
	○ 星空を活用したナイトヨガや星空観賞会等のイベント充実	■		
	○ ドライブインシアターや旧澤村邸等を活用した映画上映会の実施		■	
朝の観光プログラムの開発	海や花等の自然を楽しめるテラスカフェの設置		■	
	○ サンライズツアーの開発	■		



「30 カラーズ」の雨のモデルコース



「竹灯り」を活用した夜のイベント

2 回遊性の向上

観光施設、観光スポット間の移動の利便性を高めるとともに、複数の施設を訪問したくなる仕掛けづくりにより、本市内の回遊性と滞在性を向上し、市内全域を楽しんでもらえる仕組み作りに取り組みます。

また、拠点となる施設の整備により、来訪者・市民ともに「みなとまち下田」を満喫できるまちづくりを推進します。

① 「歩く観光」の推進

安全性や休憩のしやすさ等に配慮したハード面の整備と歩くことを促進するソフト面の充実を進めるとともに、運動や健康への働きかけを意識した取組を進め、「ウォーカブル」なまちづくりを目指します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ ヘルスツーリズムの推進	遊歩道や浜地を活用したノルディックウォーキングの推進	■		
	フラワーウォーキング等の歩くイベントの充実	■		
★ 歩行回遊性向上の環境整備	○ ポケットパーク等の屋外空間の整備と開発	■		
	街中の歩道整備や通行規制による歩行者動線確保に向けた検討		■	
	蓮台寺温泉等の各種温泉場を活用した湯めぐりの充実	■		
★ 食べ歩き観光の推進	○ 街中を食べ歩きできるマップの作成		■	
	○ 商工団体と連携した地場産品を活用した食べ歩きメニューの開発		■	



和歌の浦遊歩道で行う「ノルディックウォーキング」



休憩施設として整備した「大工町プレイス」

②公共交通の利便性の向上

市内観光における回遊性を高めるため、二次交通の利便性の向上に向けた取組を交通事業者と連携して進めるとともに、移動そのものを楽しめるような取組を検討します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 二次交通の充実・ 利用促進	○ 観光型Ma a Sの促進	■		
	レンタサイクルの充実	■		
	○ 周遊パスや企画切符の認知度向上に向けた取組の強化	■		
交通結節点の環境改善	待合環境の改善や観光案内の充実	■		
	鉄道と路線バスの乗り継ぎ利便性の確保		■	
	伊豆急下田駅周辺地区整備の検討			■
観光列車の活用・PR	○ 観光列車内での地場製品の販売に向けた検討		■	
	○ サフィール踊り子やロイヤルエクスプレスを活用した旅行商品の企画	■		

③観光拠点施設の機能強化

既存観光拠点での情報発信や観光案内機能の拡充により、来訪者の受入体制の充実を図り、回遊性の向上を促進します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 観光拠点施設の機能 強化	道の駅の展示内容の見直し等のビジター機能の強化	■		
	○ 旧澤村邸のギャラリーとしての機能の強化	■		
	○ 駅から観光協会駅前案内所への動線の改善		■	



交通事業者との連携



道の駅「開国下田みなと」



歴史的建造物である「旧澤村邸」

3 受入体制の強化

旅行先として観光客に選ばれるため、都会にはない地方の強みを活かした観光体験のできる商品開発に取り組むとともに、市全体がクリーンな印象をもたれるような、おもてなしとしての美化活動を推進します。

また、感染症対策を含めた安全・安心への取組をより一層徹底し、来訪者・市民ともに安全に安心して楽しめるまちづくりを推進します。

①美化活動・施設整備の推進

本市の魅力的な自然や景観を保全するため、市民協働による美化活動に努めるとともに、快適に過ごせるよう、観光施設の整備を推進します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
観光施設整備の推進	快適で安全な海水浴場の開設	■		
	観光施設の適正な管理	■		
	Wi-Fi 環境やキャッシュレス決済環境の拡充		■	
	下田市景観計画に基づいた観光施設整備	■		
★ 美化活動の推進	○ 街中でのクリーン活動やビーチクリーン活動の促進	■		
	○ 大学と連携したマイクロプラスチック等の環境問題への取組		■	
	美化啓発看板設置等によるマナー啓発活動	■		



歴史あるまちなみを後世に受け継ぐため、景観保全に取り組んできた「ペリーロード」

②安全・安心のまちづくり

地震や津波等の発生時における緊急情報の伝達等の観光防災対策に加えて、感染症対策に注力し、市民にも来訪者にも選ばれるまちづくりを推進します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
施設の安全対策の強化	○ 災害時における各施設内の体制整備や避難マニュアルの作成	■		
	従業員や施設利用者への食糧・水等の備蓄や避難訓練の実施	■		
	○ 観光施設・宿泊施設の耐震性能の強化	■		
避難誘導體制の強化	地域と連携した避難誘導體制の強化	■		
	外国人や障害者等への対応の強化	■		
避難施設の確保	○ 帰宅困難者の避難施設（一時滞在場所）の確保	■		
	食糧・水等の備蓄	■		
帰宅支援の検討	道路啓開体制の整備	■		
	公共交通機関との連携		■	
	道路・鉄道・海路等による帰宅方法の検討		■	
★ 災害情報の迅速な 情報提供の推進	市や観光協会のHPへの迅速な情報掲載	■		
	避難ルートや避難場所がわかるマップ・看板や県防災アプリの普及促進	■		
	防災行政無線や緊急速報メール等による広報・周知	■		
★ 感染症対策の強化	○ 下田モデルを継承した感染症対策の強化	■		

みんなの新型コロナ対策「下田モデル」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「下田モデル」を作成しました。市民への「下田モデルカード」による体調管理の促進や帰省者や観光客に向けた下田ルール（下田に来る前に守ってほしいこと・下田に来たら守ってほしいこと）の周知、そして医療機関との緊密な連携等を実施することで、市民も観光客も双方が安心する下田を目指します。

1 みんな安心

各プレーヤーができることをそれぞれ実施
市民・観光客の双方が安心する下田

- ・下田モデルのルールの周知
- ・感染予防を実行するための対応例集の作成・市内への共有
- ・「下田モデルカード」による体調管理

2 どこでも安心

あらゆるシーンにおいても対応を
安心して過ごせる・楽しむことができる下田

- ・伊豆急下田駅や海水浴場等における検温・健康相談
- ・「感染症拡大防止宣言の店」飲食店へのステッカーの導入

3 “もしもの時”も安心

感染を広げない対応
持続できる下田

- ・発症時の対応の迅速化
- ・安心な医療体制の推進



4 インバウンド誘客の推進

従来の誘客策を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、いつでも受け入れることができる強固な体制づくりを進め、外国人観光客に旅先として選ばれるまちづくりを推進します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 外国人観光客受入体制の強化	外国人観光客にわかりやすい案内表示やパンフレット等の作成	■		
	Wi-Fi 環境やキャッシュレス決済環境の拡充（再掲）		■	
	観光関連事業者を対象とした外国人対応セミナー等の実施	■		
	飲食店等におけるハラル対応に関する勉強会・セミナー等の開催		■	
外国人旅行者向けの観光プログラムの開発	外国人のニーズに沿った選ばれる観光コンテンツの発掘や磨き上げ	■		
	○ 下田特有の歴史や伝統文化を活用した体験プログラムの開発		■	
	○ 外国での多様な生活文化に対応した観光コンテンツの開発		■	
	○ インバウンド向けの学生ボランティアガイドの育成			■
★ 訪日旅行の目的地としての認知度向上	○ 日本政府観光局等と連携した多様な国や地域への情報発信	■		
	在日外国人と連携したSNS等による情報発信		■	
	海外のインフルエンサー等を招聘したファムトリップの実施		■	
	○ 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした外国人誘客の推進	■		



「しーもん」による外国人観光案内



下田市観光協会の「英語版ホームページ」



「下田市公衆無線LAN」ロゴマーク

5 人材の発掘・育成

観光振興の潜在的効果には、「市民協働の多様な展開」や「市民の地域への誇り、愛着の醸成」等の好循環が生み出されることがあげられます。市民と事業者、行政が協働して施策を推進し、本市のさまざまな魅力や歴史を知る市民を増やし、魅力や文化等を伝えられる人材の発掘・育成に取り組みます。

また、専門性の高い研修等を実施し、まち全体のおもてなしの質を向上させるとともに、来訪者の満足度を高める取組を推進します。

①人材の発掘

地域事業者と連携し、観光業の担い手の発掘に努めるとともに、観光振興で活躍できる人材の確保、ワーケーション等を活用した関係人口の確保に取り組みます。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
観光業の担い手の 発掘	○ 市内高等学校等と連携を深めた学生のU・Iターン就職の促進			■
	伊豆半島温泉旅館合同企業説明会等の広域での就労促進事業への参加	■		
	観光の知識や専門能力を持つ人材登用の検討		■	
	ハローワークと連携した観光業へのマッチングの実施		■	
★ ワーケーションの促進	○ ワーケーションによる企業・人材の来訪の促進	■		
	下田の魅力や課題を知るイベント等の実施		■	
	○ ワーケーション利用者と市民の協働による地域の魅力の発掘	■		



「ワーケーション」利用者とのワークショップの開催

②人材の育成

来訪者が安心してまちを楽しめる、おもてなしの体制を整えるため、市民が下田の魅力を再認識し愛着と誇りが持てるような学びの機会を設け、まちづくりの担い手を育成します。

また、観光分野の最前線に立つ専門人材による研修等のプログラムを充実し、質の高いおもてなしを実現します。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 地域のホスピタリティの向上	おもてなしプログラムの充実	■		
	○ 下田を遊ぶ・学ぶ体験講座での郷土教育の実施	■		
	○ 地域の伝統的な文化・芸能を継承する人材の育成			■
	下田市観光協会等が実施する講座による知識・技術の向上	■		
専門人材の派遣の推進	地域おこし企業人制度等、国の制度を活用した専門人材の登用		■	
	専門人材を招聘した地域人材の育成			■



「おもてなしプログラム」による観光施設案内



海を活用した「自然体験活動」



「下田市観光まち歩きガイド」

6 多様な関係団体・自治体との連携

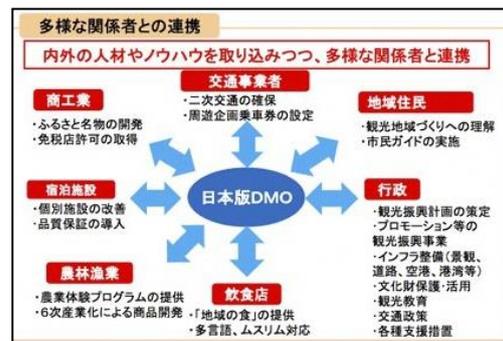
市内の関係団体と連携して経済の活性化を図るとともに、地域の「稼ぐ力」を高める組織づくりを検討し、地域とつながるまちづくりを推進します。

また、近隣市町との連携をより強固にし、お互いの市町への誘客を推進することで、地域全体の周遊性を高め、本市及び賀茂地域、さらには伊豆地域全体の経済活性化に向けて取り組みます。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
★ 民間事業者との連携	○ QRコード等を活用したオフライン媒体での情報発信時の調査分析の実施	■		
	○ OTAを活用した誘客とデータ分析の実施	■		
	交通事業者と連携した観光商品の開発		■	
	観光関連事業者と連携した観光DMO組織の形成に向けた検討		■	
教育旅行の推進	伊豆下田地区教育旅行協議会と連携した教育旅行の積極的な誘致	■		
	○ ホテルや旅館等と連携した受入体制の構築		■	
広域DMOとの連携	美しい伊豆創造センター等の広域DMO組織と連携した誘客の推進	■		
自治体間連携の強化	個人旅行やマイクロツーリズムに対応した旅行商品の開発	■		
	近隣市町と連携した誘客イベントの開催や周遊コースの開発		■	
	花やジオサイト等を活用した近隣市町との連携による名所巡りの開発		■	
	姉妹都市交流やフラワー都市交流等の国内の交流都市との連携の強化	■		
	秩父と商店会連盟のつながり等の民間同士が連携した取組への支援	■		



「伊豆大特産市」等の地域事業者連携で行うイベント



「地域DMO」の連携イメージ図



「教育旅行」でのアジの開き体験



伊豆地域での「広域連携団体」

7 情報収集力・発信力の向上

観光動向に関するビックデータ等の活用により、効果的な情報発信や観光プロモーション、観光を通じた地域づくり等に取り組み、来訪者のニーズを明らかにし、適切な情報を発信できる仕組みを構築します。

また、進捗の可視化やプロモーション結果の数値化等を図り、本市の魅力さをさらに磨き上げ、ウェブサイトやSNSの利活用をはじめとする情報発信力の強化に取り組みます。

個別施策 (★：重点施策)	主な取組 (○：新規取組)	着手時期		
		短期	中期	長期
マーケティングの推進	○ デジタルマーケティングの実施	■		
	新しい観光コンテンツの需要調査やモニターツアーの実施		■	
	○ 下田ファンのデータベース化の検討			■
観光パンフレットの充実	分かりやすい魅力的な観光パンフレットの作成	■		
	30 カラーズプロジェクトの見直しの実施	■		
★ ビジュアルコンテンツの活用	SNS等を活用するインフルエンサーの招聘	■		
	蓮杖プロジェクト等の写真を活用した事業による情報発信強化	■		
	○ ドローンの映像を活用したVR体験の開発		■	
観光キャラバンの強化	トップセールスによるPR活動の強化	■		
	旅行博や大型物産展等のイベントへの参加	■		
	他市町で開催される物産展での地場産品PRの実施	■		
ロケーション活動支援の充実	○ ロケハンツアーやロケ地PR動画等によるロケ誘致の強化		■	
	下田市ロケーションサービスの受入体制の強化	■		
	○ ロケ地マップやロケ地看板等の設置によるロケツーリズムの推進	■		



「他市町で開催される物産展」でのPR活動



「トップセールス」によるPR活動



「下田市ロケーションサービス」ロゴマーク